

アショロア発見から40年

40年前、1976年（昭和51年）7月31日、北海道がどうできたかを研究しに白糠丘陵の地質調査をしていた木村学さんが、上螺湾モラワン川の河床から見つけた化石。

20年におよぶ研究の末、2000年には犬塚則久さんによって「アショロア」と命名され、世界で一頭だけの動物化石と認定されました。

2001年には、足寄動物化石博物館ができてから最初の復元として全身骨格が組み立てられ、博物館で「活躍」しています。

40周年の今年、新しい説による骨格復元の制作・展示、関係者による報告会などで、「世界のアショロア」をアピールしていきます。



まぢかに見えるアショロアの骨格は子どもたちの夢をふくらませます。
後ろにいる3頭は子孫のデスマスチルス。（安藤副館長・学芸員による解説）

足寄動物化石博物館 フォストリーあしよろ

指定管理者 NPO法人 あしよろの化石と自然

〒089-3727 北海道足寄町郊南1丁目 TEL 0156-25-9100 FAX 0156-25-9101

staff@museum.ashoro.hokkaido.jp

<http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp>（博物館だよりpdf版あり）

No. 137

2016年 3月9日発行

（年4回発行）

デスモスチルスは泳ぐ・・・復元骨格ほぼ完成

デスモスチルスやアショロアはどんな生活をしていたか、化石研究の世界では長い間おおきなテーマでした。足寄動物化石博物館では、おととしの展示改装で、泳いでいる復元図で説明するようにまりました。しかし、・・・骨格は「立った」ままでした。

このくいちがいのなくそうと、手始めに、枝幸町で発見されたデスモスチルス「歌登標本」の泳ぐ姿を骨格であらわそうと、骨格復元に取り組んでいます。

完成すると、デスモスチルス属としては世界初の「泳いでいる」骨格となります。つづいて、発見40年を迎えるアショロアに取り組みます。

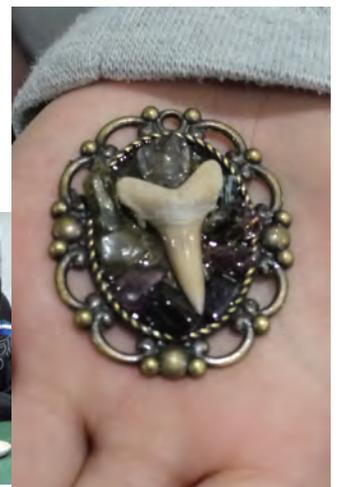
アショロア発見40年を機に生まれ変わるデスモスチルス像・足寄動物化石博物館展示にご期待ください。



化石工房＝作業展示室に姿をあらわした泳ぐデスモスチルス歌登標本

冬の博物館を開催しました！

今年の冬の博物館は、1月16日・17日に行われました。恒例の雪中化石発掘で、化石や鉱物の詰まったカプセルを掘り出した後は、新企画「ペンダントづくり」を楽しみました。参加者の皆さんは真剣にデザインを考え、「世界でたったひとつ」のペンダントを完成させていました。「ペンダントづくり」は夏にも予定しています。お楽しみに！



足寄に大きなクジラがいた！ 研究発表&ロビー展示

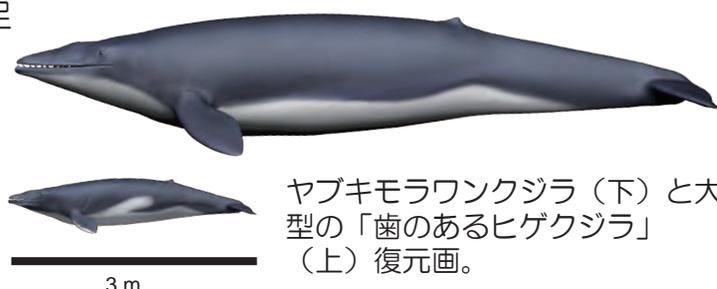
足寄町で発見された大型の「歯のあるヒゲクジラ」化石の研究成果を、1月29日から京都大学で開催された日本古生物学会（第165回例会）で発表しました。足寄の化石と同じ時代の歯のあるヒゲクジラは、現在までに体長3～4メートルの小型のものしか知られていませんでしたが、今回研究された化石は推定体長が約8メートルと、同じ時代の歯のあるヒゲクジラの2倍の大きさであることが明らかになりました。このことは、歯のあるヒゲクジラの多様性が今までに考えられていたよりも高く、当時の海洋において重要な生きものだったことを示しています。研究は博物館の安藤学芸員と国立科学博物館研究員の蔡 政修さんとの共同研究で、国際的な学術雑誌 Journal of Mammalian Evolution に研究論文が掲載されました。

●ロビー展「足寄に大きなクジラがいた！」

ロビー展「足寄に大きなクジラがいた！」を開催します。今回発表された大型の歯のあるヒゲクジラを中心に、足寄のクジラ化石、実物大の大きさの3D復元画などを展示します。足寄の化石といえばアショロアなどの束柱類（デスモスチルスの仲間）が有名ですが、クジラ化石も豊富で、重要な化石が見つかっています。今回のロビー展ではそんな足寄のクジラ化石の一面をお知らせします。



ヤブキモラワンクジラ（左）と大型の「歯のあるヒゲクジラ」（右）頭骨の化石。



ヤブキモラワンクジラ（下）と大型の「歯のあるヒゲクジラ」（上）復元画。

ロビー展「足寄に大きなクジラがいた！」

会場：足寄動物化石博物館ロビー

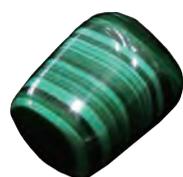
期日：3月25日（金）～5月25日（水）

※ロビー展は無料です。

今年のミニ発掘は？ いろいろ新種が登場です！

今年のミニ発掘の種類が決まりました！ クリスタル21種類、化石12種類、ミニミニ12種類です。年間を通じてこれらを入れ替えていきますので楽しみに！

クリスタルでは、孔雀石、アベンチュリンやジオードボール（新春ミニ発掘としてすでに登場）、ミニミニでは、赤サンゴやアクアマリンなどの新種が登場します。化石にはいままでの「レギュラー化石」にくわえて、これってほんとに生きものだったの？といたくなるような「おもしろ化石」シリーズが登場です！ 3月25日から提供開始です。



孔雀石
（クリスタル）



アベンチュリン
（クリスタル）



赤サンゴ
（ミニミニ）



ネジ??
（おもしろ化石）



クッキー??
（おもしろ化石）



星??
（おもしろ化石）

探鳥会

わたしたちの生活にもっとも身近な野生動物である鳥たちを足寄の野山で探りませんか？

予約不要・参加費無料です。不明な点は博物館までお問い合わせください。

- | | |
|-----|---|
| 第1回 | 4月3日(日) 午前8時 |
| | 足寄動物化石博物館の駐車場集合
(集合後、自動車で移動します。
自家用車でおいでください) |
| 第2回 | 5月8日(日) 午前8時 |
| | 里見が丘公園駐車場の芝桜園入り口集合
(郊南交差点から西へ、国道241号沿い) |



探鳥会の様子

各回とも2時間くらいです。十分な防寒で、第1回は長靴を履いてきて下さい。双眼鏡、カメラ、筆記用具などをお持ちください。

化石イルカ制作中



パーツがそろったニシノネズミイルカ

2012年に新種として報告された、ニシノネズミイルカの復元骨格制作がいよいよ大詰めです。2015年の夏ごろから、発見されていない部位を粘土で作り始め、樹脂に置き換えて、やっと全てのパーツが仕上がりました！これから着色と組み立てを行う予定です。

完成後は、中川町のエコミュージアムセンターで展示されます。

足寄動物化石博物館の利用について

- 開館時間 午前9時30分～午後4時30分(入館締め切り時刻)
- 休館 毎週曜日(祭日の場合は開館し、翌日またはその後の平日)
年末(12月30日から)・年始(1月6日まで)
- 料金 一般 400円、小中高・65歳以上 200円
幼児は無料。足寄町内の小中学生は無料。
※館の主催事業の際は、無料にすることがあり、その都度お知らせします。



編集後記

アショロア発見40年、それは同時に「足寄動物群」発見40年なのです。2500万年前の北太平洋を代表する動物群。クジラの進化にも新しいことがわかり、ますます注目が集まります。